

歯科口腔外科

診療科のご紹介

当科は地域の基幹病院の1診療科として他医療機関と連携し、口腔外科疾患を対象とした診療を行っています。「顔面皮膚への外科的侵襲を可及的に避ける」をモットーに、可能な限り口内法による口腔機能の回復を目指し、そしてやむを得ず口外法を選択する場合には、審美性を十分に配慮した治療を心がけています。

また、口腔粘膜疾患や口腔乾燥症を中心とした口腔内科学的疾患に対する治療にも積極的に取り組んでいます。また当科は厚生労働省単独型歯科医師臨床研修施設、日本口腔外科学会認定研修施設であるとともに歯科衛生士臨床実習病院にもなっており、教育・研修期間としての役割も担っています。

さらに、当科の特徴の1つとして、病院歯科口腔外科としては全国的にもきわめてめずらしい日本歯周病学会認定歯科衛生士が在籍しており、糖尿病などの全身疾患を有する歯周病患者の口腔管理やVAP(人工呼吸器関連肺炎)予防、がん化学療法や周術期の口腔管理やその指導、また脳卒中患者の誤嚥性肺炎や廃用症候群の予防を目的とした専門的口腔管理も積極的に行っています。

なお、最も紹介の多い埋伏抜歯などの歯科外科手術に関しましては、入院した方が休暇を取りやすいなど患者さんの要望により、短期入院管理下での治療も行っていきます。また抜歯などの治療に対し恐怖心あるいは不安感を強くお持ちの患者さんには、精神鎮静法を併用することでスムーズな処置が可能です。

診療科で対象とする症状

- 顎や顔が腫れた
- 口の中が痛い
- 口や歯肉から出血する
- 口が乾く、ネバネバする
- 口の中に出来物ができた
- 口や舌が荒れて痛い
- 歯を抜いた後に血が止まらない、または痛みがなくなる
- 歯を抜いた後にしびれが取れない
- 顔にしびれやゆがみがある

- 顎や歯が折れて咬み合わせがおかしい
- 口が開かない、口を開けようとすると顎が痛い、カクカク音がする
- 口内炎がなかなか治らない
- 義歯があたってできた傷がなかなか治らない

診療科の対象疾患

口腔腫瘍（良性・悪性）、顎顔面外傷、嚢胞性疾患、口腔粘膜疾患、唾液腺疾患（ドライマウスを含む）、歯性感染症、顎関節疾患

なお、歯科疾患に関しましては全身疾患を有する患者さんで、一次医療機関での診療に支障を来たすような症例を診療対象としています。受診の際には必ずかかりつけ歯科医の紹介状をご持参ください。